

別冊

大阪・関西万博
鳥取県ゾーン等
展示基本計画書

令和5年6月

鳥取県

交流人口拡大本部観光交流局
国際観光誘客課

目次

0 序章

0-1	大阪・関西万博への参画と意義	P02
0-2	博覧会開催概要	P03
0-3	万博参加への取り組み	P04

1 展示計画

1-1	出展概要	P05
1-2	展示計画に関する基本方針	P07
1-3	展示イメージ及び展示手法	P08
1-4	展示における留意事項	P09

2 誘客施策

2-1	誘客施策に関する基本方針	P10
-----	--------------	-----

3 関西パビリオン「鳥取県ゾーン」の運営計画

3-1	運営計画に関する基本方針	P13
-----	--------------	-----

4 万博レガシーの活用

4-1	万博レガシーの活用	P14
-----	-----------	-----

5 工程

5-1	今後の事業工程	P15
-----	---------	-----



0 序章

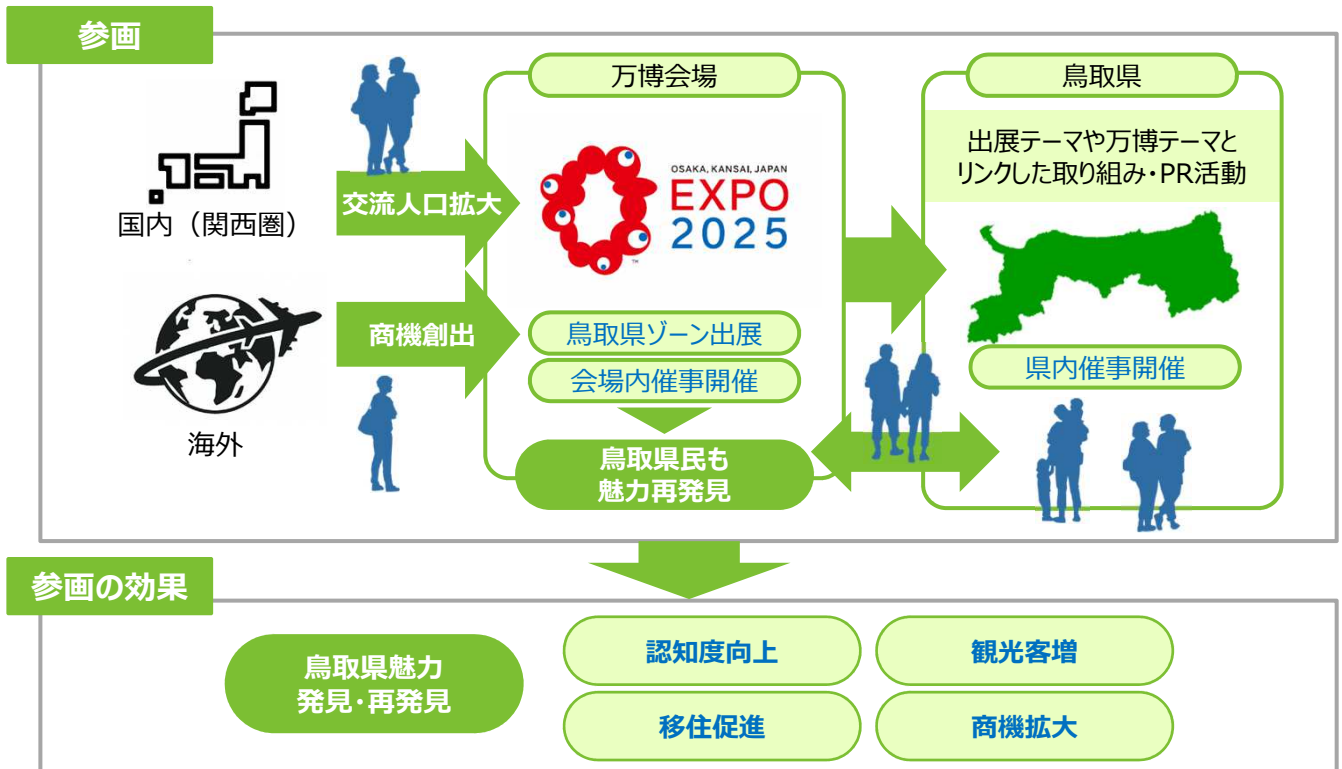
0-1 大阪・関西万博への参画と意義

大阪・関西万博への参画と意義

鳥取県は、中国地方の北東部に位置し、青く澄み渡る日本海、緑豊かな山々と豊かな自然とともにある人々の「いとなみ」が脈々と受け継がれてきました。こうした環境の中で数々の農産物が生産され、新鮮な海の幸が水揚げされます。

鳥取県は、世界にアピールできる魅力＝「まんが王国とっとり」・「鳥取砂丘をはじめとする特徴的な自然」・「鳥取の文化が育んだ豊かな食」などの資源を豊富に持ち、大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」に賛同し、参画することで、人類、日本、鳥取県の課題解決にさらなる貢献ができると考えます。

大阪・関西万博は、会期中に国内外から約2,820万人の来場が見込まれる国際的な催事です。鳥取県は、この機会を活かし、より多くの方に鳥取県を知っていただき、観光、移住、ビジネス等、幅広い分野で、より多くの方が鳥取県との交流や関係性拡大が図られるよう取り組んでいきます。また、県内にはさまざまな魅力があり、県民の皆さまには、これを再発見していただく機会にしたいと考えます。



万博交流イニシアチブ：万博を契機とした交流人口の拡大

万博交流イニシアチブで示されている交流人口の復活・拡大による「万博がもたらすメリット」を鳥取県が享受することができるよう自治体交流や観光交流など想定されている分野での参画について検討していきます。



- 地域経済の活性化
- インバウンドの回復
- 世界に通用する人材育成
- 新しいビジネス・イノベーションの機会の創出
- ソフトパワーの強化



0 序章

0-2 博覧会開催概要

博覧会開催概要



- 名称 2025年日本国際博覧会（略称「大阪・関西万博」）
- 開催場所 夢洲（大阪府大阪市臨海部）
- 開催期間 2025年4月13日（日曜日）～10月13日（月曜日）／ 184日間
- 来場者数 （想定）約2,820万人
- テーマ いのち輝く未来社会のデザイン
“Designing Future Society for Our Lives”
- サブテーマ
 - ・Saving Lives（いのちを救う）
 - ・Empowering Lives（いのちに力を与える）
 - ・Connecting Lives（いのちをつなぐ）
- コンセプト People’s Living Lab（未来社会の実験場）

※2025年日本国際博覧会（略称「大阪・関西万博」）基本計画 より

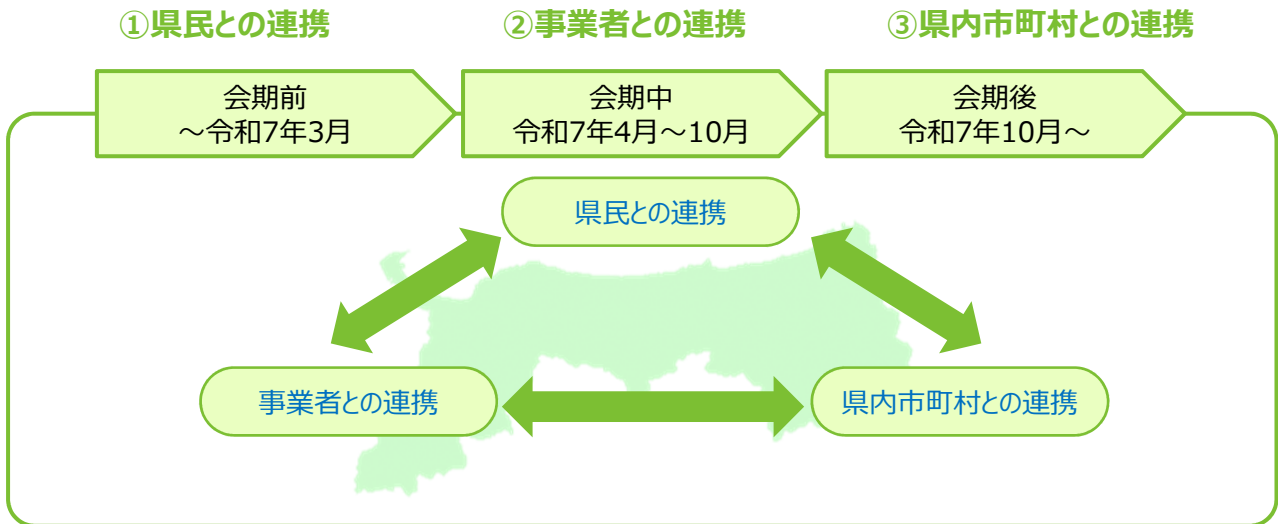


0 序章

0-3 万博参加への取り組み

全県あげての万博参加取り組み

認知拡大や観光誘客拡大を目指した万博参加に際し、鳥取県では、2025年日本国際博覧会や関西広域連合と連携を取った取り組みを展開していきます。鳥取県内に向けてもさまざまな情報の発信や参加機会の提供を行ない、全県あげての、万博参加成功の実現を図りたいと考えています。そのためにも、会期前・会期中・会期後と全期間を通して県民・事業者・県内市町との共創を目指します。



関西パビリオンへのブース出展

鳥取県も参画する関西広域連合が、地元関西の魅力を国内外の人々に発信するため、万博会場に「関西パビリオン」を設置します。鳥取県はここに「鳥取県ゾーン」を設けます。鳥取県のことをまったくご存じない方からなじみのある方、鳥取県にお住まいの方まで、魅力を発見・再発見していただけるよう、「鳥取県らしさ」を存分に発信していきます。

大阪・関西万博会場内催事への出展

関西パビリオン内へのブース出展にとどまらず、万博会場内の各催事施設や、関西パビリオンに付設される多目的エリアを活用した催事も計画します。「まんが王国とっとり」・「鳥取砂丘をはじめとする特徴的な自然」・「鳥取の文化が育んだ豊かな食」など、魅力のあるコンテンツを提供し、子どもから大人まで楽しめる催事を目指します。

※2025年日本国際博覧会協会、関西広域連合における各催事スペースの取扱いが決定次第、計画を具体化していきます。

大阪・関西万博テーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」

ブースの展示、運営、催事、観光誘客等において、大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を意識した取り組みを検討します。「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマは、人間一人一人が、自らの望む生き方を考え、それぞれの可能性を最大限に発揮できるようにするとともに、こうした生き方を支える持続可能な社会を、国際社会が共創していくことを推進するものです。鳥取県の取り組みを通じて、万博来場者、参加者、鳥取県来訪者などが考えていただける機会を提供することを目指します。

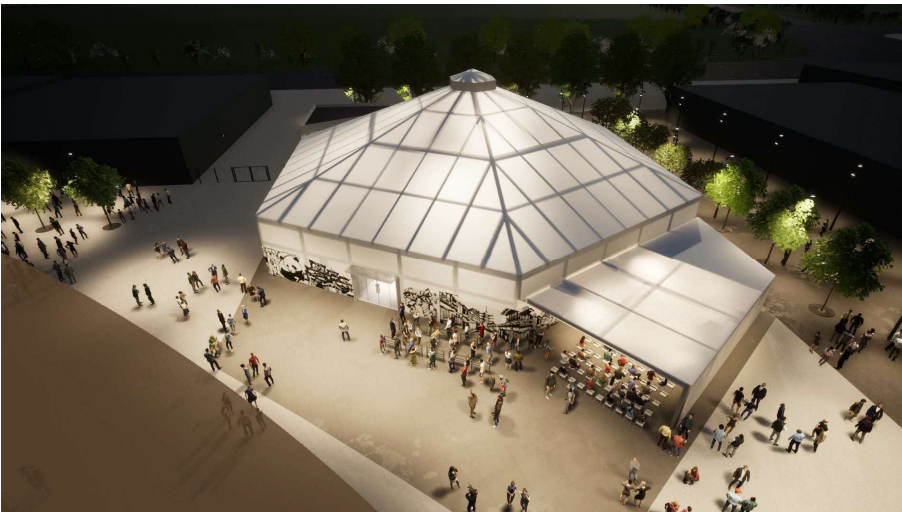


1 展示計画

1-1 出展概要

関西パビリオン概要

- テーマ いのち輝く関西悠久の歴史と現在
- 出展参加でめざすもの ①地域に息づく「いのち」と未来へと続く「いのち」の発信
②関西各地へのゲートウェイ
- 出展参加の主体 関西広域連合
- 出展参加府県 滋賀県、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県、福井県、三重県
※隣接する大阪パビリオンと連携・協力
- 関西パビリオンの基本構成 ①関西全体を表現する展示エリア
関西パビリオンのエントランスとして、関西各府県の魅力を一体的に表現する。
②出展参加府県による独自展示エリア（府県ゾーン）
出展参加府県が来館者に訴求したいポイントに沿い、趣向を凝らした展示を展開する
③WEBパビリオン
会場に来ることができない人も関西パビリオンを体感できるよう、リアルのパビリオンとの連動やWEBの特性を活かし、発信していく。



2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）
関西パビリオン出展基本計画 より

関西パビリオン配置図



(提供 2025年日本国際博覧会協会)



1 展示計画

1-1 出展概要

鳥取県ゾーン

- 展示面積：約126㎡
- 関西パビリオン平面図



内部レイアウトイメージ



- 関西パビリオンに参加する府県は、大阪・関西万博の開催地を中心として取り囲むように立地。
- その参加府県の地理や隣接関係を来館者が自然に感じとれるように、展示スペース内の並びを地理的配置で表現。また中心で関西全体を表現する展示を展開することで関西を一体的にアピールする。
- 来場者は、メイン出入口から、中央の関西スペースに入り、そこから訪れたい府県の展示スペースに引き込まれるレイアウトとする。



1 展示計画

1-2 展示計画に関する基本方針

展示コンセプト

鳥取県の魅力である「まんが王国とっとり」・「鳥取砂丘をはじめとする特徴的な自然」・「鳥取の文化が育んだ豊かな食」などを、さまざまな層の大阪・関西万博来場者へ発信します。独自の会場構成や先端技術を活用した展示体験を提供し、来場者の皆さんが鳥取県の魅力に触れ、発見いただける鳥取県ゾーンづくりをすすめてゆきます。

まんが×自然×食

迫力と斬新さで
記憶に残る体験

「まんが王国とっとり」の
魅力を最大限に活用

世代や国を越えて
誰もが楽しめる環境

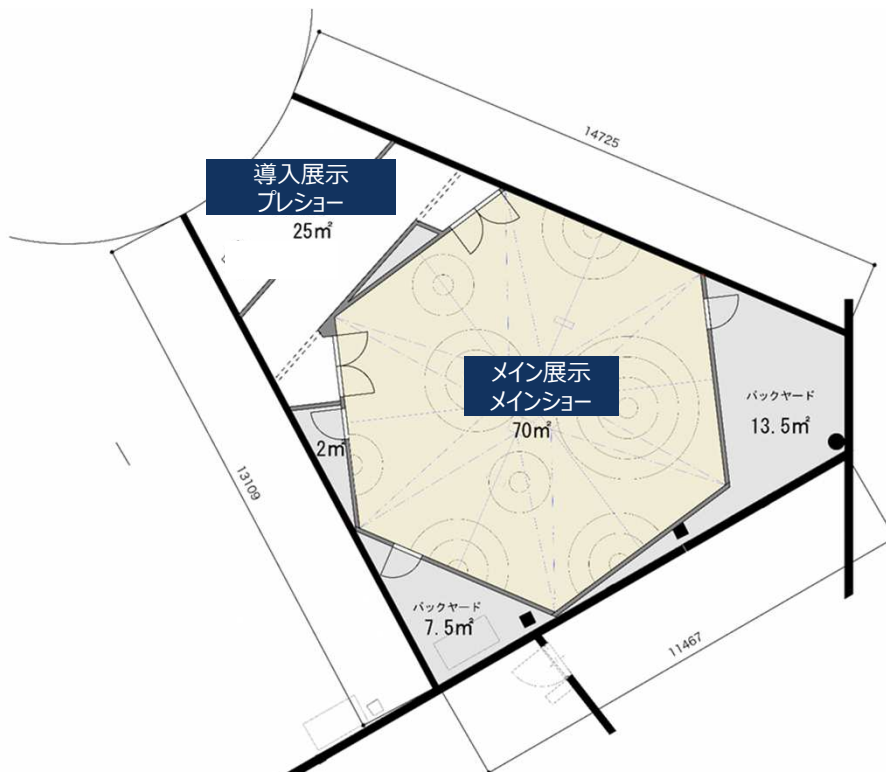
展示
コンセプト
(仮)

来場者みんなが 鳥取魅力名探偵！

展示構成とゾーニング

導入展示（プレショー）とメイン展示（メインショー）の2つのゾーンで構成。

- 鳥取県が輩出した3人の漫画家の特徴を活かした展示ストーリーで構成。
- 鳥取砂丘の砂を敷き詰めたメイン展示では、展示デバイス（虫めがね型）を用いながら、鳥取県の歴史・文化・観光資源を発見する体験型展示を展開。





1 展示計画

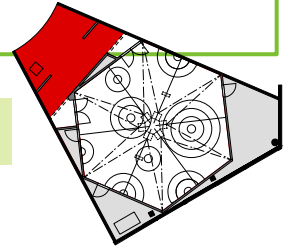
1-3 展示イメージ及び展示手法

展示イメージ及び展示手法

● 導入展示ゾーン

鳥取県ゾーンへの誘引を牽引する空間。

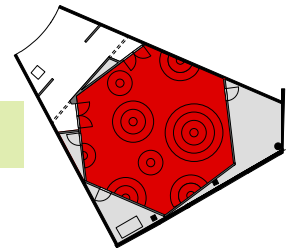
- ・間口約4m、高さ約3mの出入口。
- ・入口を抜けると、天井高は10m程度まで活用可。
- ・メインショーへの待機スペースを兼ねるため、円滑な導線を設計し混雑も想定した誘導を検討する。



● メイン展示ゾーン

無限に続く砂丘空間で、鳥取県の歴史・文化・食を発見する体験型展示。

- メイン展示では、床面に本物の鳥取砂丘の砂を敷き詰め、壁面を鏡張りにすることで果てしなく続く砂丘空間を計画。砂の匂いや踏みしめる感覚が来場者の五感に訴え、記憶に残る展示体験の創出を図る。
- また展示体験を深めるアイテムとして、虫めがね型展示デバイスの開発を計画。展示デバイスを砂丘にかざすと、ARカメラが起動。歴史・文化・食など鳥取県の観光資源体験型展示を検討。
- 発見したコンテンツは展示デバイスに情報が蓄積されていく仕組みを計画。





1 展示計画

1-4 展示における留意事項

展示における留意事項

●ユニバーサルデザイン・バリアフリーの活用

- ・性別、文化、言語の違いや障がいの有無等にかかわらず誰もが楽しめるユニバーサルデザインに配慮した計画づくりを行う。
- ・サインや展示映像の位置において、子どもや車いす利用者が見やすい高さを考慮した設計を検討する。
- ・メイン展示ゾーンでは、鳥取砂丘で実際に貸し出しされている、砂地を走行可能な太いタイヤ付きの車イスを用意。実際に現地で行われているバリアフリーの取り組みを発信していく。
- ・展示空間では適切な通路幅を確保する等、車いす利用者が安心して体験できる空間を計画する。
- ・ユニバーサルデザインに即したフォントや色覚バリアフリーに基づいた色使いを用いた、視認性の高いサイン計画を行う。
- ・適切な照度や色温度等を用いて、来場者の安全性を考慮した照明計画を検討する。

●地球環境への配慮

- ・カーボンニュートラルや環境に配慮した素材等を選定するなど、環境に配慮した設計を検討する。

●多言語対応

- ・サイン及び展示映像については、多言語対応を行う。



2 誘客施策

2-1 誘客施策に関する基本方針

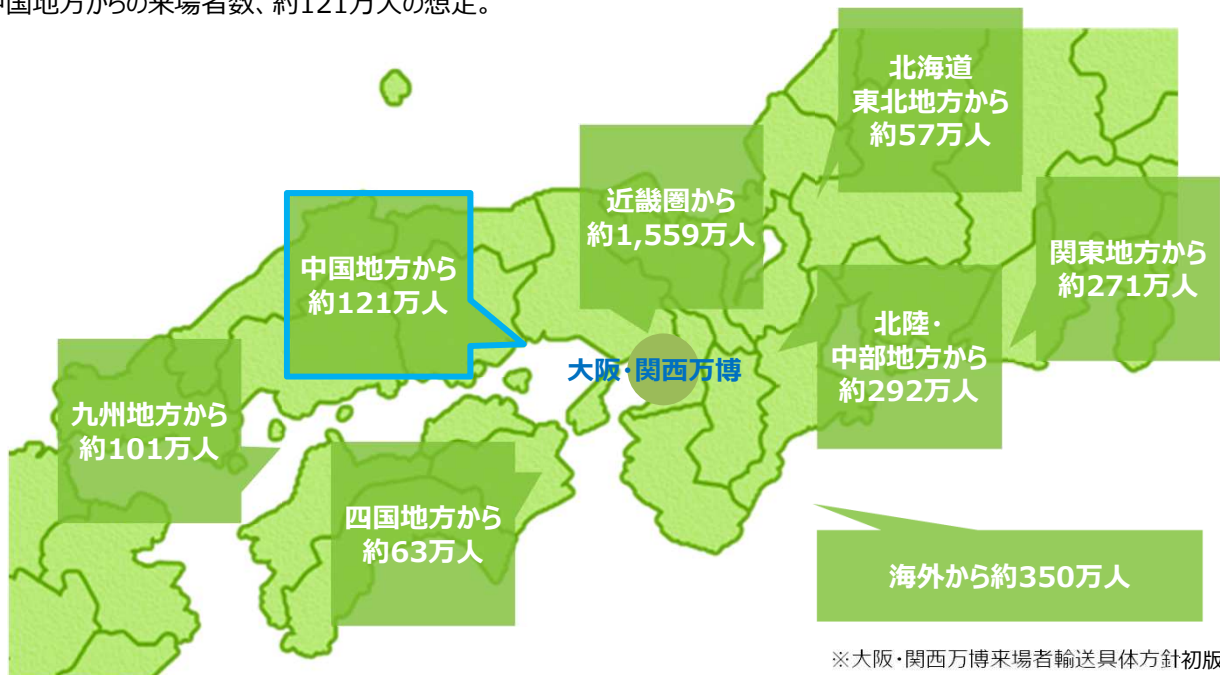
大阪・関西万博 来場者数

来場者総数
約2,820万人

国内来場者数 約2,470万人 (約88%)

海外来場者数 約350万人 (約12%)

- 来場者総数の約2,820万人のうち、国内来場者は約9割、海外来場者は約1割と想定される。
- 国内来場者のうち、近畿圏内が約6割、近畿圏外が約4割と想定される。
- 中国地方からの来場者数、約121万人の想定。



出展の目標

鳥取県ゾーン来場者数

約30万人

- 関西パビリオンおよび鳥取県ゾーンのキャパシティ、1時間あたりの回転数、1日あたりの開場時間、大阪・関西万博の会期日数を元に設定した人数です。

大阪・関西万博を契機とした鳥取県への誘客者数

約740万人

- 期間中（R7年4月～10月）の県内入込客数を、過去10年間の最多となるよう目指します。
- 目標の達成に向けて、鳥取県ゾーンや万博会場内外の催事・PRを効果的に活用し、観光誘客、移住促進、ビジネスチャンスの拡大等につなげます。



2 誘客施策

2-1 誘客施策に関する基本方針

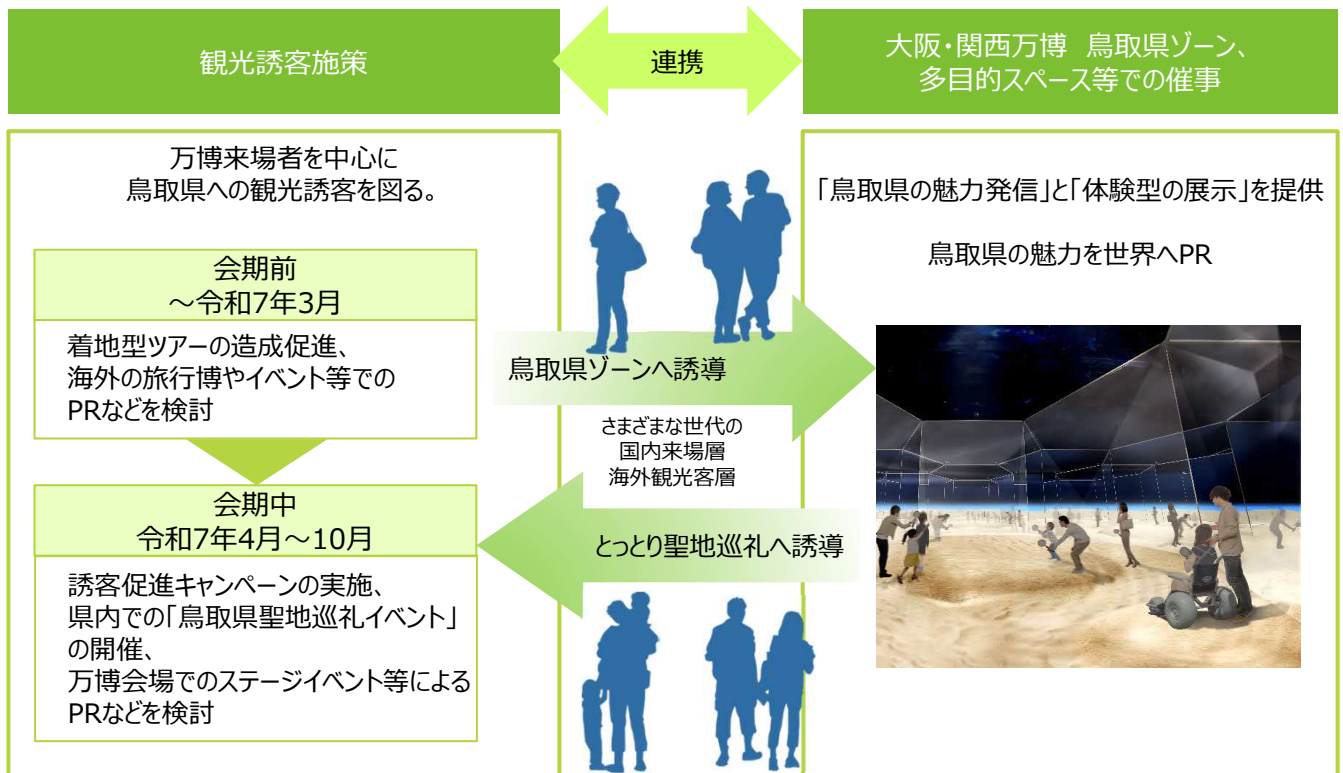
万博を契機とした鳥取県への観光誘客に係るプロモーション

誘客テーマ とっとり聖地巡礼

- 万博会場での展示・催事を通じて、鳥取県への誘客を促進する。
- 県内では万博と連動した、とっとり聖地巡礼イベントを実施する。

基本方針

- 鳥取県ゾーンでは「鳥取砂丘」・「まんが王国とっとり」・「食」を中心に「鳥取県の魅力発信」と「体験型の展示」を提供し、国内外の万博来場者と観光客の鳥取県への誘導・周遊を図り、鳥取県でしかできない「感動体験」を味わっていただきます。
- 国内外の観光事業者、市町村等の関係団体と連携して鳥取県への誘客と県内周遊を目指します。
- 県内への訪問客を歓迎する県民機運の向上を進めます。
- 「会期前」「会期中」それぞれの時期に応じたプロモーションを実施し、万博来場者を中心に鳥取県への観光誘客を図ります。





2 誘客施策

2-1 誘客施策に関する基本方針

催事計画について

会期中は、万博会場内の催事施設や関西パビリオンの多目的エリア、県内各地等、さまざまな場を活用して各種催事を展開し、観光誘客や移住促進、ビジネスチャンスの拡大等につなげます。

実施に当たっては、季節や鳥取県内の動きを踏まえた展開を検討し、万博会場内催事で鳥取県への関心を高めるとともに、県内催事との連携により、本県への誘客や本県物産品・文化等の情報発信を図ります。あわせて、県内での催事をきっかけとした万博会場への誘導も促進していきます。

<万博会場内の催事施設>

The map shows the Expo '85 site with several key venues highlighted in pink circles and red arrows pointing to descriptive text boxes:

- ギャラリー** (Gallery): 展示面積：約500㎡。アニメ、ファッション等の展示会を会期中入替で実施可能。3～7日程度（設営撤去含む）。
- 屋外イベント広場** (Outdoor Event Plaza): 収容人数：1万人規模。屋根付きステージ、大型映像装置あり。大型ライブイベント、映像上映、祭り等の屋外催事を実施可能。1～2日程度（設営撤去含む）。
- メッセ** (Messe): テーマウィーク・催事の実施会場（政府アクションプラン・自治体等）。展示面積：1区画約2,000㎡。様々な展示会を会期中入替で実施可能。
- 大催事場** (Grand Event Hall): 座席数：約2000席。センター型ステージホール。暗転可能。大型映像装置あり。音楽、演劇、芸能、未来型エンターテインメント、テーマフォーラム等の劇場催事を実施可能。1日（設営撤去含む）。
- 日本伝統文化エリア** (Japan Traditional Culture Area): 芝生広場、屋外小舞台。歌舞伎、能、句会等実施可能。0.25日～1日（設営撤去含む）。1階展示場。茶道、華道、書道等日本の伝統文化の催事を会期中入替で実施可能。3日～7日程度（設営撤去含む）。

(提供：2025年日本国際博覧会協会)



3 関西パビリオン「鳥取県ゾーン」の運営計画

3-1 運営計画に関する基本方針

基本方針

鳥取県ゾーンでの運営計画では、万博会場や関西パビリオンでの規定や条件に合わせ、安全で快適な展示スペース運営計画を個別に策定する。

運営個別計画

案内誘導計画

展示スペースでの最大収容人数を設定し、関西パビリオンとも協議の上、必要に応じて入場規制を行う。案内・誘導スタッフの配置に関しては展示スペースの特性を考慮した配置計画を検討する。

サービス計画

国、文化、性別、世代、障がいの有無に関わらず、全ての方に安全・安心で快適に楽しめる、ホスピタリティの高いサービス内容をICT技術を取り入れて検討する。

警備計画

事故や事件発生時における対応を博覧会協会や関西パビリオンと連携した警備計画を各関係機関とも協議の上で策定する。

救護

傷病者の発生に備え、博覧会協会や関西パビリオンとも連携した計画を策定する。

衛生管理計画

展示スペースの衛生的な維持管理運営に当たり、清掃業務やゴミ処理など博覧会協会や関西パビリオンの定める規定を順守した計画を策定する。

消防防災計画

自衛消防隊の体制を構築し、初期対応や避難誘導等の計画を策定し、博覧会協会や関西広域連合とも連携した計画を協議の上、策定する。

保険等の計画

展示スペースや関連する行催事の実施において、想定されるすべてのリスクを検討し、必要な保険へ加入する。



4 万博レガシーの活用

4-1 万博レガシーの活用

基本方針

大阪・関西万博における鳥取県のさまざまな取り組みや成果を、万博終了後にも、レガシーとして有効に活用し、交流人口の拡大に結び付けます。

鳥取県内市町村をはじめ、万博に協力・参加いただいた企業、団体、県民の皆さまと連携し、次世代につながる取り組みを展開します。

レガシー活用の方向性

大阪・関西万博で使用したコンテンツや記録を、観光や教育分野などでの活用を検討します。

パビリオンでの展示や参加の記録などを広く県内で活用する手法を検討します。



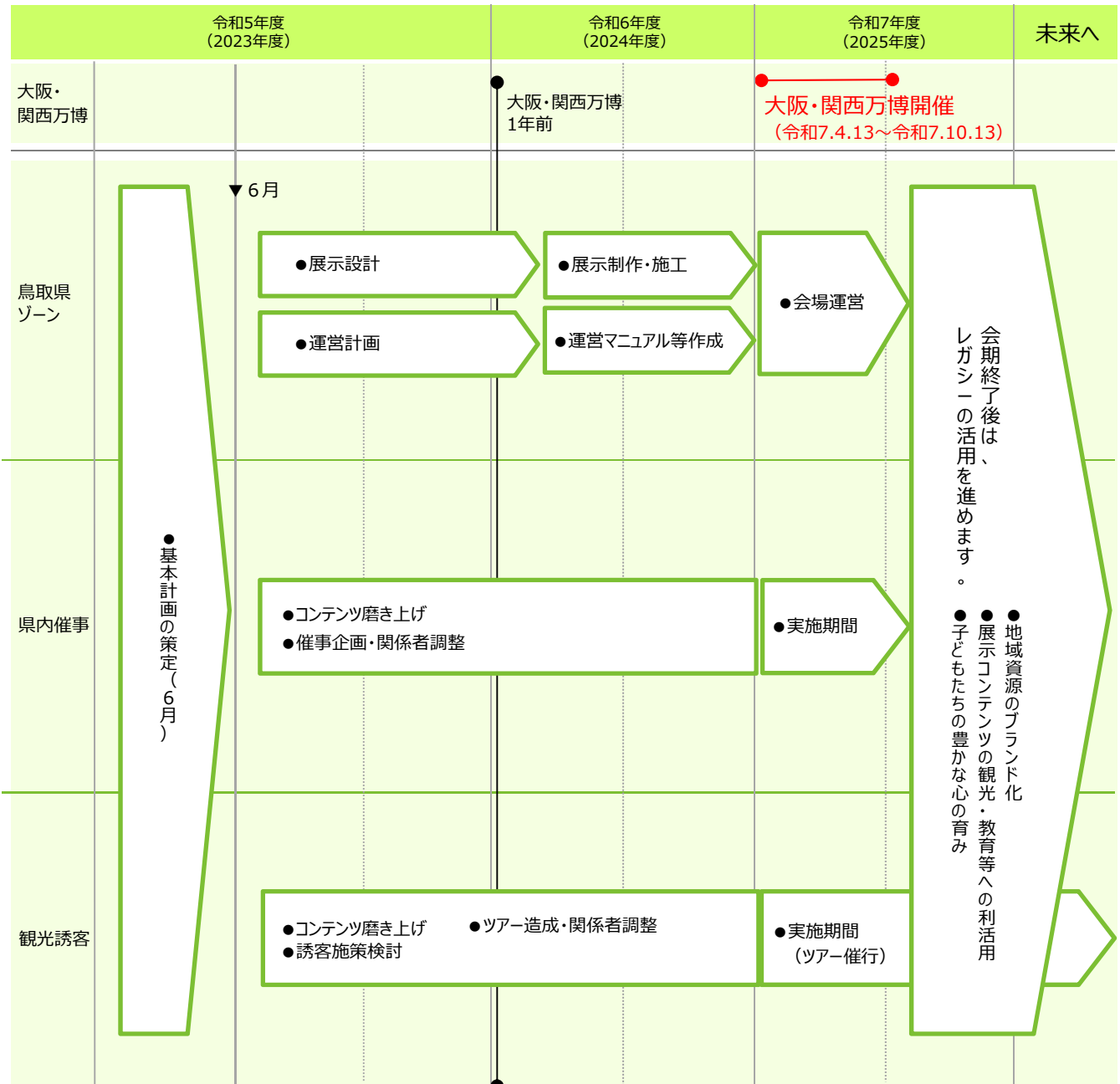


5 工程

5-1 今後の事業工程

全体スケジュール

2025年日本国際博覧会協会、関西広域連合と連携し、下記スケジュールで検討します。



※県内情報発信及び、県内機運醸成についても関係者と連携して取り組んでいきます。